

慶應義塾大学教職課程センター公開研究会

# 日本における「いじめ」の実態と特質

## ——現代いじめ研究が示すシティズンシップ教育の課題

講師 伊東毅氏（武蔵野美術大学造形学部教授）

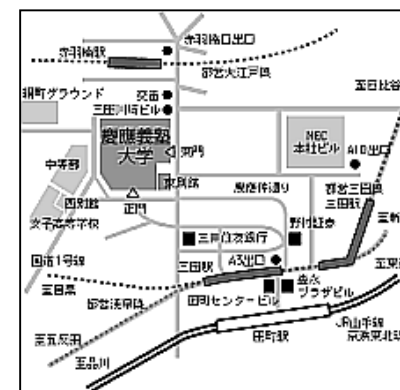
2007年3月2日（金） 18時10分～20時10分

慶應義塾大学三田キャンパス 大学院棟311番教室

いじめを苦にして絶命した子どもたちについての知らせが届くたびに、わたしたちは、不毛な責任のなすりつけ合いを直ちにやめて、精確な原因の究明を行い、子どもの発達の保障に関する社会的合意に基づいて真に有効な再発防止策をとることの必要性を痛感させられる。この研究会では、教室空間の力学原理に関する研究や、いじめの実態と打開策に関する国際比較の知見に学びながら、広い意味で教育に携わる者たちにとっての課題を考える。（参加無料・申込不要）

〈講師プロフィール〉

いとうたけし氏。1962年生まれ。専攻は教育学、道徳教育論。編著書や論文に、『みんなで生き方を考える道徳』（日本標準、2005年）、「現代日本におけるいじめの特質」（『社会文化研究』第4号、晃洋書房、2001年）、「学校におけるいじめの実態調査とその打開策に関する日加共同研究」（文部省科学研究補助金研究成果報告書〔課題番号09044037〕、2000年）、『いじめ自殺6つの事件と子ども・学校のいま』（国土社、1999年）など。



JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」下車、都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、いずれも徒歩7～8分

〈主催・問合せ〉慶應義塾大学教職課程センター  
TEL. 03-5427-1618

※ 車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内をご案内いたします。